

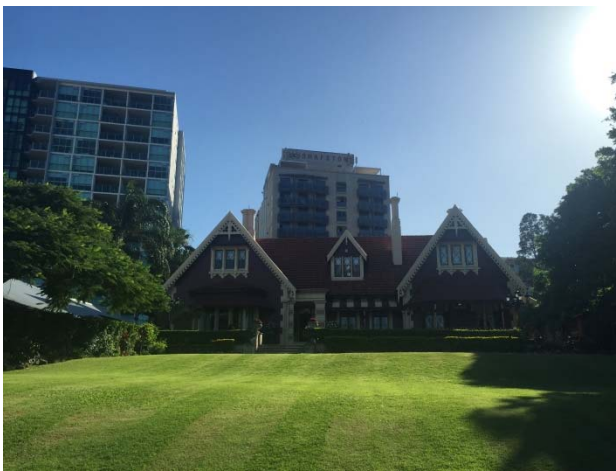
# 国際交流基金助成事業報告書

薬学部 3年次生 西川友萌

## 1. はじめに

この度、国際交流基金の助成を受けて平成 28 年 2 月 15 日から平成 28 年 3 月 5 日にかけてオーストラリア・ブリスベンを訪問しましたので報告いたします。英語のスピーキング力およびリスニング力に重点をおいた語学力の向上、さらに国際感覚を養うことを目標として、ホームステイをしながら語学学校である **Shafston International College Brisbane** 校に通いました。また、将来の就職を考えるにあたって英語力の必要性を学び、自分の視野を広げることも目的としました。

## 2. 語学学校 **Shafston International College Brisbane** 校



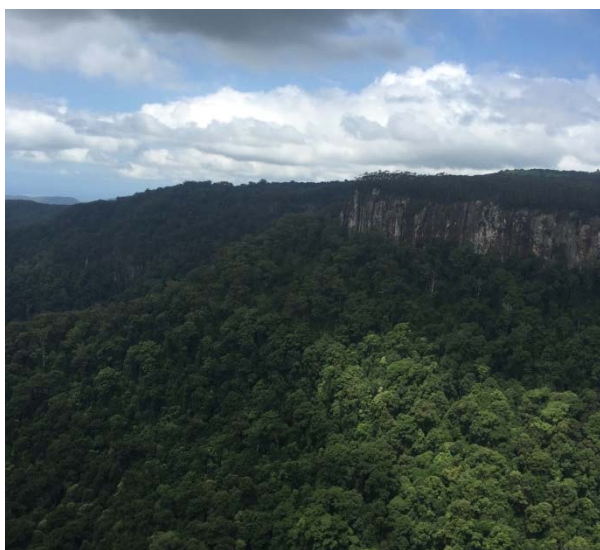
**Shafston International College Brisbane** 校には様々な国から約 600 名の生徒が英語力の向上を目的として通っていました。クラスは 6 段階にレベル分けされており、初めにレベルテストが行われ、個人個人に合ったレベルで授業を受けることができました。午前中は **Speaking・Listening・Grammar・Reading** といった全ての分野を扱った授業が展開されました。午後からは選択制とな

っており、**Speaking&Listening** クラス、**Grammar&Reading** クラス、**TOEIC** クラス、**ケンブリッジ**クラスといったクラスから選んで授業を受けることができました。また、こうしたクラス以外にも大学単位で **TOEIC** の得点の向上のために通っている生徒も多くいました。私は午前レベル 3 のクラスで学び、午後は 1 週目は **TOEIC** クラスで、2 週目以降は **Speaking&Listening** クラスで学びました。どのクラスにおいても、疑問に思ったことについて自由に質問できる雰囲気、他の生徒の疑問をクラス全員で共有し、考えることができました。また、授業は **Conversation** を重点に置いており、様々な国籍の人々と関わりを持ち、意見を交換し合うことができました。クラスメイトの国籍は多岐にわたり、イタリア、コロンビア、ブラジル、

スイス、韓国、タイ、日本といった様々な国の生徒が共に学びました。国によって英語のイントネーションが異なるのでお互いの英語を伝えあうことは難しかったですが、**Conversation** では特に正確に伝わるように努力しました。一つのトピックについてクラスメイトと意見を出し合い、自分の考えを伝え合いました。異なる視点で一つのトピックについて考えることができると同時に、一つのトピックから様々な話題に会話が発展することが多くありました。そのことが非常に興味深く、楽しみながら学ぶことができました。

### 3. アクティビティ・プログラム

午前9時から午後3時15分までの授業が終わった後、大学内で様々なアクティビティが行われ、自由に参加することができました。また週末にも様々なアクティビティが開催されました。私は授業後、**Cooking club** やフランス人の留学生との **Conversation** に参加しました。**Cooking club** では異なる国の人々と英語で料理の行程や作り方を伝えあうことは難しかったですが、非常に楽しみながら交流することができました。またフランスの留学生との **Conversation** では1時間で約10名ほどの人達と自己紹介などを行いました。英語の **Speaking** 力の向上につながるとてもよいアクティビティでした。さらに週末には **Spring Brook** のツアーにも参加しました。日本では見ることのできない広大な自然をみることができ、また、オーストラリアの先住民であるアボリジニーの歴史についても学ぶこともでき、非常に貴重な経験となりました。



#### 4. ホームステイ

ホストファミリーは韓国人のホストマザーと、私と同じ **Shafston** に通うフランス人の大学生の2人でした。韓国、フランス、日本の文化の違いについて夕飯を食べながら約2時間にもわたって様々な会話をしました。日本では家族と夕飯時にこんなにも話し合う機会がないのでとても新鮮でした。会話の内容は食事や習慣、政治や保険のシステム、友達や家族、将来や教育についてなど様々で、日本とは異なった考え方や文化について学ぶと同時に、自国への理解を深めることもできました。また、同じホームステイ先に滞在するフランス人の留学生は既に3週間オーストラリアに滞在しており、オーストラリアでの生活について多くのことを教えてもらうことができました。週末には友達や家族みんなで多くの観光地に行ったり、家の近くで **BBQ** をしたりと貴重な時間を過ごすことができました。たとえ国籍は違っても一緒に楽しむことができる素晴らしさや人々の親切心というものを身をもって感じることができました。



#### 5. 最後に

今回の語学研修で、英語力の向上およびこれから社会に出ていく上での目標を明確に見つけることができたように思います。オーストラリアには移民の方を含め、様々な国籍の人々が住んでおられ、習慣や生活背景が違うため、理解しづらい考え方や、理解してもらえにくい考え方がありました。しかし、自国とは異なる文化について知ることは、自分の考え方や視野を広げるのに非常に大切なことであると感じました。日本で生活していると、考え方や習慣が似ている人々と関わるが多いため、言わなくても伝わるが多くあるけれど、海外ではしっかり自分の考えや思いを言葉にしなければ伝わらないということを感じました。様々な国の人と会話をす

る際、イントロネーションが異なるため、なかなかうまく伝えられないことも多くありましたが、理解し合おうとする姿勢をもつことがコミュニケーションをとる上で大切であり、異国の人達と関わることで得られる考え方や知識は本当に自分を成長させてくれるものであると感じました。初めは理解し合えない文化が多くあったとしても、一緒に生活をしているうちにお互いの考え方を知ることができ、笑い合える場面が増えていきました。そうした瞬間を感じることもできたとき、とても嬉しく思いました。これからの社会で活躍していくには英語は必要不可欠であると考えます。今回の語学研修で得た海外の人々とのつながりを大切に、ここからが英語力を伸ばすスタートであると考え、日々勉学に励みたいと強く思います。今回、国際交流基金の助成により、このような貴重な経験をさせていただいたことを光栄に思います。